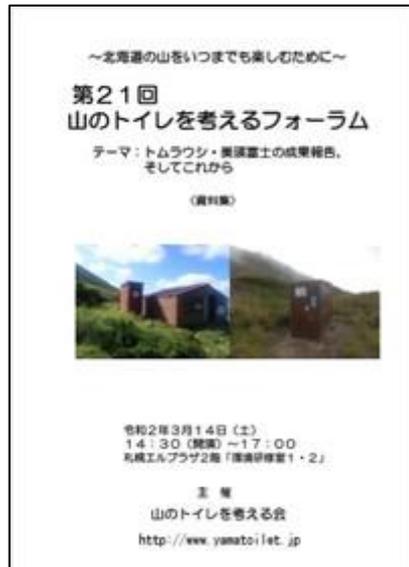


1. 第21回フォーラム、コロナで中止

第21回山のトイレフォーラムを3月14日に札幌エールプラザで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、止む無く中止しました。

テーマは「トムラウシ・美瑛富士の成果報告、そしてこれから」でした。フォーラム資料集はホームページに掲載してあります。また、印刷した資料集は行政や関係山岳団体に送付しました。



回収ボックスの設置、使用済み携帯トイレの処分は美瑛町で担当していただいています。



便座の清掃（北海道山岳ガイド協会）



支線ワイヤー緩み・仮補強（山のトイレを考える会）

2. 美瑛富士・固定式携帯トイレブースの点検パトロール実施（2020.6.28～9.27）

2015年に開始した美瑛富士避難小屋へのテント型携帯トイレブースの試行的設置を5年間実施、維持管理の点検パトロールを継続実施してきました。5年目の昨年9月10日に環境省で念願の固定ブースを設置しました。

今年は固定ブースが設置された初年度の点検パトロールでした。北海道の山岳団体による「美瑛富士トイレ管理連絡会」の点検パトロールは下記のとおり全部で6回実施することができました。

- 6月28日：冬囲い外し（環境省・美瑛山岳会）（点検パトロール）
- 7月19日：札幌山岳連盟
- 7月26日：北海道山岳連盟
- 8月2日：道北地区勤労者山岳連盟
- 8月16日：山のトイレを考える会
- 8月30日：道央地区勤労者山岳連盟（雨で中止）
- 9月15日：北海道山岳ガイド協会
- 9月27日：大雪山国立公園PV連絡会

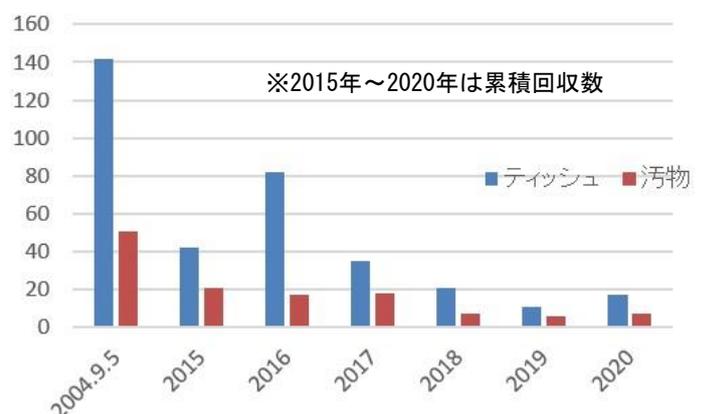
環境省（固定式トイレブースの冬囲い）

（備考）日本山岳会北海道支部は当会の調整ミスで実施できませんでした。お詫び申し上げます。

環境省が実施した美瑛富士登山口での2020年アンケート調査（78件）結果、携帯トイレ普及取組みの認知度は90%、所持率は76%（テント泊者に限れば95%）でした。

また、2015年から6年間の美瑛富士トイレ管理連絡会によるティッシュと汚物の回収数（累積）の推移は下図のとおり、少ない傾向が続いています。

携帯トイレブースの設置、回収ボックスの設置、各山岳団体による広報、さらに新聞などのマスメディア、ホームページやSNSを活用した広報等いろいろな施策が結果として表れたと思います。



美瑛富士のティッシュと汚物回収数の年度推移

3. 裏旭野営指定地への携帯トイレブース設置に向けた現地調査の実施 (2020. 7. 18～19)

裏旭野営指定地にはトイレがありません。7月中旬、当会事務局運営委員4名で裏旭に一泊して現地調査を実施しました。

水も豊富で景観も素晴らしい野営地ですが、身を隠す場所が殆どありません。登山者が携帯トイレを持ってきても、どこで使うのか困惑する場所です。

残念ながら今回の一度の調査では聞き取り調査の件数も少なく、皆さんどこで排泄しているのか掘り下げた調査はできませんでした。2021年も現地調査を実施する予定です。

大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言が2018年に発表されました。登山者が安心して携帯トイレを使える野営地となるよう、携帯トイレブースの設置に向け取り組むこととします。



7月18日、テント数は28張ありました



登山者へ対面での聞き取り調査

4. 大雪山国立公園の携帯トイレ回収ボックスに洗濯カゴを配備 (2020. 6. 27～7. 16)

大雪山国立公園には現在、11箇所の登山口に回収ボックスが設置されています。

今回、当会の費用で洗濯カゴを購入、環境省の協力を得て、全ての回収ボックスに2個ずつ配備しました。

使用済み携帯トイレの回収を担っている町役場の廃棄物収集者が直接手に触れることなく回収でき、不快な思いを軽減し衛生的になったと思います。



旭岳ビジターセンターの回収ボックス

5. 山のトイレマップ、9,500部配布 (2020. 7～10)

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が一昨年の7月に発表されました。当会では、昨年引き続きトイレ、携帯トイレブース、携帯トイレ回収ボックスの位置、登山口近くの販売店が載るトイレマップを作成し、各所に配備・配布しました。

宿泊施設、ビジターセンター、森林管理署などの協力をいただき、大雪山国立公園の13カ所で7,500部、知床、利尻山等で2,000部、全部で9,500部配布できました。



十勝岳温泉凌雲閣様では玄関に配備

6. トムラウシ南沼に標識設置 (2020. 7. 3)

昨年、トムラウシ南沼野営地に2基目の携帯トイレブースが設置されました。

宿泊者だけでなく、日帰り登山者にも利用してもらうよう、トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト構成員である新得山岳会で登山道の分岐点に案内標識を立てました。また、トイレ道への立ち入り禁止看板も設置しました。



(編集) 仲俣善雄

連絡先	(郵便) 004-0061 札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18 小枝方 山のトイレを考える会 事務局 電子メール: hokkaido@yamatoilet.jp 電話: 事務局長・仲俣 (090-4873-3525) FAXなし
-----	--